

データ分析の理論と応用 投稿規定

1. 論文内容は広くデータ分析に関連する実践的な応用、応用あるいは方法の開発において有益、あるいは独創性のある論文とする。投稿する論文は、未公開のものに限る。すでに他の学会誌、書籍等で査読中あるいは刊行予定であるものであってはならない。
2. 一般投稿、特集への投稿とは別に、編集委員会から特定の著者へ論文等の執筆を依頼することがある。
3. 論文の種類は、新規の理論や応用の研究で明確な結果を示す「原著論文」、既存の研究の補強となる計算結果や事例、理論構築のために有用なデータ、既存の分析手法のプログラム実装例、有益なデータ集などの「資料」、既存の研究の比較や評価、萌芽的アイデアの呈示、少数事例の紹介などの「研究ノート」等々とする。内容や体裁を考慮して、編集委員会が著者の意向と異なる種類に分類することがある。新たな種類が適切な場合は、編集委員会で決める。
4. 論文は原則として日本語で書き、投稿は随時受け付ける。
5. 論文投稿者のうち少なくとも 1 名は、国際分類学会連合加盟のいずれかの分類学会の会員でなければならない。ただし、特集への投稿や編集委員会としての執筆依頼の場合、前記の論文投稿者についての条件を適用しない。
6. 論文は、別に定める執筆要綱に従い作成する。論文を投稿する際には、編集委員会へ次の(1)または(2)を電子メールにより送付する。
 - (1) LaTeX で作成した場合：LaTeX 形式のファイル、必要な図(eps 形式)、PDF 形式のファイル
 - (2) MS Word で作成した場合：MS Word 形式のファイル
7. 査読を経て採択された論文については、編集委員会へ次の(1)または(2)を電子メールにより送付する。(3)については、編集委員会の指定する送付先に郵送する。
 - (1) LaTeX で作成した場合：LaTeX 形式のファイル、必要な図(eps 形式)、PDF 形式のファイル
 - (2) MS Word で作成した場合：MS Word 形式のファイル、本文で使用した図を eps 形式に変換した図 (eps 形式の図が送付できない場合は編集委員会へ連絡すること)。
 - (3)以下の 11 で定める諸権利の帰属についての確認書(指定様式。なお、論文の印刷はすべて LaTeX に変換して行う。また、印刷に際し厳密に提出原稿通りの版面にはならないことがある。
8. 論文は、編集委員会が選定した 2 人以上の査読者によって独立に査読される。採択、一部修正、不採択等の編集上の決定は編集委員会が行う。倫理的・道徳的な点も含め、編集委員会が本誌に相応しくないと判断した場合は、査読を経ずに不採択とする。また、著作権や利益相反に関する問題等の処理は著者の責任で処理し、大学等の倫理委員会での審査が必要な研究については、その審査を経ていることを投稿の前提とする。なお、一般投稿、特集への投稿とは別に、編集委員会から特定の著者へ論文等の執筆を依頼したものについては、編集委員会内部で審議し掲載を決める。
9. 表記の統一のため、編集委員会で原稿の一部を改める場合がある。
10. 本文は、英文要旨のページを含み、原則 10 ページ以内とする。10 ページを超える場合は、そのために発生する費用を投稿者に請求する。MS Word 形式のファイルで投稿した場合には、編集委員で LaTeX 形式のファイルに変換する。その際に発生する費用を投稿者に請求する。抜刷り(別刷り)は実費で希望に応じる。

11. 掲載される論文の著作権は、日本分類学会に帰属するものとする。日本分類学会は、掲載される論文を、電子化し、インターネット等により公開することができる。著作者人格権は、著者に帰属し、著者が自身の論文を複製、転載、翻訳、翻案等により利用することができる。
12. 投稿する論文で引用する文章、図、表などの著作権に関する諸問題は、著者の責任により処理するものとする。

(2019年3月27日改訂)